

・染料とは

染料とは水や一部の溶媒に溶解して、紙や布を染着（着色）する物質のことです。色素が蛍光の性質を持つ染料を特に蛍光染料と呼びます。染着は染料分子と被染着物とが化学的に結びつくことで起こります。一方、着色などに使用される物質で、水や油に不溶なものを総称して顔料といいます。顔料単独では基材と結合する事ができませんので、顔料と展色剤（樹脂）を混合し、それを塗布することで着色がなされます。